

2018年12月18日

## **AGC、米国バイオ医薬品生産能力を3倍に増強 —動物細胞向けバイオリクターの増設に加え、微生物向け設備を新設—**

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、当社CDMO<sup>\*1</sup>事業子会社のAGC Biologics社（本社：米国）の生産能力を大幅に増強します。同社シアトル工場に動物細胞シングルユース<sup>\*2</sup>仕様の2,000リットルバイオリクターを12基増設するとともに、欧州・日本のみで保有していた微生物の受託開発製造設備を新設します。本増強により米国におけるバイオ医薬品生産能力は3倍となり、日本・米国・欧州において微生物、動物細胞を用いたバイオ医薬品CDMO事業の3極一体運営体制がさらに強化されます。なお、本増強の総投資額は約100億円を見込んでおり、2020年7月より本格稼働を開始する予定です。



AGC Biologics 社シアトル工場

AGCグループは、経営方針 **AGC plus** の下、バイオ医薬品 CDMO 事業を含むライフサイエンス事業を戦略事業のひとつと位置付けており、2025年に1000億円の売上げ規模を目指しています。同事業において、2016年にBiomeva社、2017年にCMC Biologics社を買収し、欧米での製造販売拠点を獲得しました。以来日本・米国・欧州の各拠点で積極的な設備投資を行っています。

今後も大きな需要の伸びが見込まれるライフサイエンス事業において、各地域のお客様にグローバルで統一された高水準の品質・サービスを継続して提供できるよう、必要な買収・設備投資を積極的に実施していきます。また各拠点のシナジーを最大限発揮することで技術力を向上させ、製薬会社、患者様、そして社会に貢献していきます。

---

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

（担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）

\*当社は2018年7月1日より旭硝子株式会社からAGC株式会社へ社名を変更しました。

\*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。

<注釈>

\* 1 CDMO：製造受託に加え、製造方法の開発を受託・代行する会社（Contract Development & Manufacturing Organization）

\* 2 シングルユース：使い捨て容器を使用した培養槽

### ■ A G C グループライフサイエンス事業拠点 ■



以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

A G C 株式会社 広報・IR 部長 玉城 和美

（担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）

\*当社は 2018 年 7 月 1 日より旭硝子株式会社から A G C 株式会社へ社名を変更しました。

\*個人情報 は 当社 プライバシー ポリシー に 従って お取扱い を させていただきます。